

## 子供の気持ち・行動

- ・こんらん混乱と不安を感じる
- ・自分のせいかも・・・と考えてしまう
- ・誰にもきけない、話せないと感じる
- ・子どもなりに工夫してがんばる
- ・くうそう空想の世界や、その子どもなりの儀式にぎしきのめりこむことも、工夫の一例（解説4）
- ・怒りや恥ずかしい気持ちをもつこともある

ケアされないままだと・・・

- ・体調や行動の変化につながることもある
- ・人と本音でつきあえない、自信をもてない・・・といった「生きづらさ」につながることもある

## 対応

1. 「病気のせいで様子がちがうんだよ」と伝える
2. 「あなたのせいではないよ」と伝える
  - \*「いい子にしていたら早くよくなるよ（退院できるよ）」といった説明をしない
  - 病気や病気の症状を、子どもに結びつけない
3. 子どもなりのがんばりを、「○○をがんばっているね」と認める
  - 「つらいときは、そう言っても大丈夫」とあわせて伝える
4. 子どもの感じるいろいろな気持ちをどんな気持ちも認める

### ・食事、生活リズム、学校の準備など

日常生活をサポートする視点も大切にします

### ・ご本人ご家族への支援も共通です

工夫やがんばり、できていることに注目します

